

## APSIPA ASC 2017における海外論文発表



三上 葉\*

My experience in APSIPA ASC 2017

Key Words : Residual drum sound, estimation, singing voice extraction

<参加会議名> Asia-Pacific Signal and Information Processing Association Annual Summit and Conference 2017

<開催場所> マレーシア クアラルンプール

<渡航期間> 2017年12月12日ー12月17日

<発表タイトル> Residual drum sound estimation for RPCA singing voice extraction

2017年12月13日より12月15日までの3日間、マレーシアのクアラルンプールで開催された、Asia-Pacific Signal and Information Processing Association Annual Summit and Conference 2017 (APSIPA ASC 2017) に参加いたしました。本学会はアジア・太平洋地域における研究者が多数集い信号情報処理の広い分野について議論される国際会議で、今回は349件の発表が行われました。会期中3日間はオーラルプレゼンテーションセッションの他に、著名な研究者による keynote speech やシンポジウム、ポスター発表など様々な形態で最新の研究成果を聞くことができました。

今回私は音楽信号から歌声のみを抽出する技術に関して発表を行いました。私は今回が海外で発表を行う初めての機会であったこともあり、何度も練習を重ねましたが、その甲斐あって無事に発表を終えることができました。発表後には世界各地の研究者と

議論を行うことで自分の研究に新しい考え方を取り入れることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。また、バンケットの時間には同世代の学生と話す機会があり、大きな刺激となりました。最後に、今回海外論文発表奨励賞を頂き学会発表に際して支援を頂きましたことに心より御礼を申し上げます。



写真1 発表の様子



写真2 バンケットの様子



写真3  
ペトロナスツインタワー



\* Shiori MIKAMI

1992年11月生まれ  
大阪大学基礎工学部システム科学科電子システム学コース卒業(2016年)  
現在、大阪大学基礎工学研究科システム創成専攻 システム科学領域 飯國研究室 博士前期課程2年 学士(工学)  
TEL: 06-6850-6580  
E-mail: mikami@sip.sys.es.osaka-u.ac.jp



写真4 KLタワーからの眺め